

環境安全衛生ポリシー（解説）

オリンパスグループは、経営理念に掲げる「世界の人々の健康と安心、心の豊かさの実現」という基本思想とグローバル行動規範に基づいて環境安全衛生の取組みを推進している。安全で衛生的な職場環境づくり、地球環境と調和した事業活動に関わるパフォーマンスを継続的に向上し、企業成長と持続可能な社会の実現への貢献を果たしていくために、環境安全衛生ポリシーを制定する。

1. 環境安全衛生活動の継続的改善

グローバルで行う環境安全衛生活動を組織的かつ継続的に改善していくために、環境安全衛生マネジメントシステムに基づく管理体制を構築・維持し、教育・訓練を実施するとともに、環境安全衛生活動の進捗状況を定期的にモニタリングする。

2. 法規制・社会規範の遵守

企業の社会的責任として、環境安全衛生に関する法令のみでなく、従業員とその家族・地域住民・お客さま・お取引先・投資家などの関係者との合意事項、持続可能な社会の実現への貢献のために自主的に設定した規範や規準を確実に遵守する。

3. 環境負荷の低減

持続可能な社会と健全な環境の実現を目指し、省エネ・省資源につながるものづくり技術（生産開発プロセス・設備に関わる技術など）の開発、各拠点における継続的な省エネ、水資源の有効利用や廃棄物の適正管理（削減、再利用、リサイクル、適切な処分）など、事業場における環境負荷低減に取り組む。併せて、環境課題の解決に貢献する製品・サービスや製品の軽量化や包装材の削減及び再利用などに配慮した環境負荷の小さな製品・サービスの提供に取り組むとともに、グリーン調達基準に基づいてサプライヤーと連携した化学物質の適正管理、温室効果ガス排出量の削減や資源の有効利用の促進等に取り組む。企業市民活動の観点からも、地域の行政や NGO/NPO と連携した森林・河川・海などの自然保護活動も推進する。

4. 安全と健康の確保

職場における安全衛生リスクの有無及びそのリスクレベルを明確化し、リスクの大きさに応じて危険要因の除去やリスク低減対策を実施する。

5. コミュニケーションの重視

ステークホルダーとの相互理解を通じた信頼向上を図るため、オリンパスグループが与える環境影響やその低減対策、従業員の安全衛生確保に関わる積極的な情報発信を行うとともに、ステークホルダーからのニーズ・期待にしっかり耳を傾けて環境安全衛生の課題解決に向けた活動を行う。